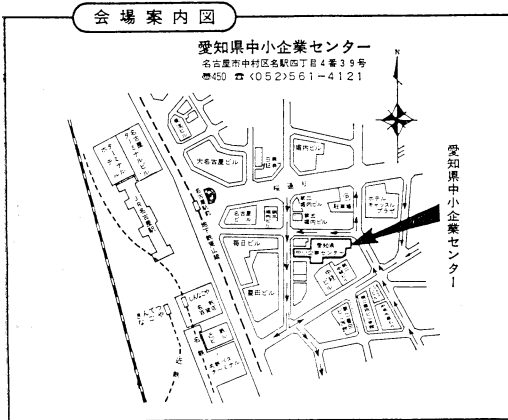


1990年度気象学会中部支部研究会のお知らせ

日時：1990年11月19日（月）13時～20日（火）12時
 場所：愛知県中小企業センター（7F第8会議室）
 〒450 名古屋市中村区名駅四丁目4番39号
 (TEL. 052-561-4121)



企画：〒464-01 名古屋市中千種区不老町
 問合せ先 名古屋大学水圏科学研究所
 加藤内蔵進
 TEL. 052-781-5111 内線5742
 FAX. 052-781-3998

プログラム

11月19日（月）(13:00～14:50)

開会のあいさつ（支部長）

熱帯対流活動の東西変動と日本の冬の天気：礪部英彦・吉村 香（名古屋地方気象台）

北太平洋気圧場の変動：久保田雅久・鈴木 猛・浦塚貴史（東海大・海洋）

メッシュ気候値の利用(1)——5 km メッシュ毎の晩霜期最低気温予想への適用：小林重朝（長野地方気象台）

南岸低気圧による雨・雪予想判別—第2報—

雨・雪降水の物理的解明と新たな判別法の試み：石原昭史（長野地方気象台）

益田風の気候学的性質と鉛直構造の観測について：

川上紳一・山口葉子・歳藤幸弘(岐阜大・教育)・大浦坂勝利(静岡大・理)・須田芳彦(都立大・地理)

休憩 14:45～15:00

11月19日（月）15:00～16:50

「名古屋は暑い」と言われる理由：小川雅彦・菊地修一郎・大草直子（名古屋地方気象台）

日本海低気圧による静岡県の波浪：天野 充（気象協会静岡支部）

静止気象衛星画像で検出された噴火噴煙とその挙動：澤田可洋（静岡地方気象台）

NOAA/AVHRR 昼間のデータの雲域除去法：久保田雅久・城田雅庸・吉田 洋（東海大・海洋）

気象衛星「ひまわり」の映像を教材化する一試み：槇野泰夫（名古屋市立豊田小）

日本各地寒候期月別最大積雪深データにみられる気候ジャンプ：加藤匡和（同朋大学）・田平 誠（愛知教育大・地学）

懇親会（17:30～）

11月20日（火）9:00～10:20

成層圏オゾンの対流圏への侵入と地表付近への輸送について：佐藤公喜（愛知県公害調査センター）
 サブハイ縁辺流のふるまいと事例解析：上村 喬（名古屋地方気象台）

梅雨期の亜熱帯高気圧と浅い対流：加藤内蔵進（名大・水圏研）

強い突風を伴った寒気団低気圧：山岸米二郎（名古屋地方気象台）・土井雅彦・北島尚子・上口弘晃（気象庁・予報課）

休憩 (10:20～10:35)

11月20日（火）10:35～11:40

地形効果と降雪：藤吉康志（名大・水圏研）

1988年9月19日の尾鷲の強雨について：坂上公平（津地方気象台）

積乱雲群の数値モデリング—長続きする降水セルの形成過程—：三隅良平・武田喬男(名大・水圏研)
 閉会のあいさつ（支部長）